

北見工業大学学報

第 300 号 (2020 年 7 月号)

目 次

入 試	令和 3 年度編入学試験(第 1 次募集・推薦入試)の実施……………	2
研 究 助 成	令和 2 年度外部資金の受入状況……………	3
人 事	人事異動……………	4
受 賞	川村彰理事・副学長が「土木学会賞研究業績賞」を受賞……………	5
	古瀬裕章准教授が 2020(令和 2)年度レーザー学会賞「奨励賞」を受賞……………	6
	本学大学院生が令和元年度「土木学会北海道支部奨励賞」を受賞……………	7
諸 報	環境大善株式会社とオホーツク農林水産工学連携研究推進センター の共同研究講座設置記者会見を実施……………	8
日 誌	6 月・7 月……………	9

= 入試 =

令和3年度編入学試験（第1次募集・推薦入試）の実施

（入試課）

令和3年度編入学試験第1次募集（推薦入試）を実施しました。学科別の合格者数等は下表のとおりです。

なお、編入学試験第1次募集（社会人特別入試）については、志願者がいなかったため実施しませんでした。

学科名	推薦入試			
	募集人員	志願者	受験者	合格者
地球環境工学科	5	1	1	1
地域未来デザイン工学科	5	7	7	4
合 計	10	8	8	5

= 研究助成 =

令和 2 年度外部資金の受入状況

(研究協力課)

	令和 2 年 7 月 31 日 までの合計		前号までの合計		令和 2 年度累計	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
共同研究	38	27,271	52	40,904	90	68,175
受託研究	2	24,014	4	11,500	6	35,514
奨学寄附金	20	20,396	12	9,013	32	29,409

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	新 職 名 (発令事項)
2.6.30	学務課係長	反保 恵佳	辞職
2.7.1	総務課副課長 (研究協力課副課長兼務)	斉藤 靖子	総務課副課長
〃	学務課副課長	内山 彰	学務課副課長 (係長兼務)
〃	(新規採用)	(たけうち ちえみ) 竹内 千枝美	研究協力課事務職員
〃	(新規採用)	(つるまき かすみ) 弦巻 香澄	学務課事務職員

= 受賞 =

川村彰理事・副学長が「土木学会賞研究業績賞」を受賞

(社会環境系)

このたび、川村彰理事・副学長が公益社団法人土木学会「令和元年度土木学会賞研究業績賞」を受賞しました。土木学会賞は、1920年に「土木賞」として創設されて以来、90余年の伝統のある表彰制度です。中でも「研究業績賞」は、土木学会誌等に発表した研究、計画、施行、考案、維持管理などに関する一連の論文等の業績により、土木工学における学術・技術の進歩、体系化に顕著な貢献をなしたと認められる個人に授与されるものです。

川村理事は、独自に開発した簡易路面平

坦性測定装置により、世界標準とされるIRI (国際ラフネス指数) を用いて多種多様な路面のラフネス実態を明らかにしました。また、路面評価に特化したドライビングシミュレータを開発して、路面の多面的評価を実現するなど、その研究業績は独創性が高く、国内外で高く評価されています。

川村理事の研究業績は、路面プロファイル研究の学術的価値の向上や土木工学に顕著な貢献をしたものと認められ、「路面プロファイルの多面的評価と特徴抽出」として今回受賞の運びとなりました。



トロフィー



賞状

古瀬裕章准教授が2020（令和2）年度レーザー学会賞「奨励賞」を受賞

（応用化学系）

このたび、応用化学系の古瀬裕章准教授が、一般社団法人レーザー学会の2020（令和2）年度第44回レーザー学会賞「奨励賞」を受賞しました。

この奨励賞は、満45歳以下の研究者によ

る、きわめて示唆的かつ独創的で、将来性のある研究に対して授賞される賞です。今回は、古瀬准教授が筆頭となり解説論文にまとめた研究「放電プラズマ焼結法によるレーザー光学素子の開発」が選ばれました。

一般社団法人 レーザー学会 褒賞

[http://www.lsj.or.jp/LSJHP/LSJhtml/LSJHP15\(Award\).html](http://www.lsj.or.jp/LSJHP/LSJhtml/LSJHP15(Award).html)



トロフィー



賞状

本学大学院生が令和元年度「土木学会北海道支部奨励賞」を受賞

(社会環境系)

このたび、本学大学院生の岩渕直さん(博士後期課程 寒冷地・環境・エネルギー工学 専攻2年・地震防災工学研究室所属、主指導教員：宮森保紀准教授)が、令和元年度土木学会北海道支部技術研究発表会において「土木学会北海道支部奨励賞」を受賞しました。

岩渕さんは「主桁の損傷寸法が隣接主桁間の荷重伝達に与える影響に関する解析的検討」という題目で、老朽化する橋梁の長

寿命化に関する研究について発表しました。地方自治体が管理するような小規模な橋で、橋桁の端部が腐食によって損傷した場合でも、橋全体として車両の荷重に耐える能力が実際にはどれくらい残っているかを、高精細な解析モデルを用いた有限要素法解析により明らかにしたもので、土木工学に関する学術上の進歩発展に寄与することが認められての受賞となりました。



受賞した岩渕さん

= 諸報 =

環境大善株式会社とオホーツク農林水産工学連携研究推進センター の共同研究講座設置記者会見を実施

(オホーツク農林水産工学連携研究推進センター)

6月29日(月)、環境大善株式会社(窪之内誠代表取締役社長)とオホーツク農林水産工学連携研究推進センター(通称:CAFFÈ)の共同研究講座設置を発表する記者会見を行いました。

環境大善株式会社と本学は、平成29年6月から家畜の尿を原料とする微生物消臭材の分析・開発などに関する包括的な共同研究を継続しています。この取り組みを深化・推進し、社会実装による地域産業の高度化の拠点とするため、CAFFÈの小西正朗教授を主宰とする「環境大善共同研究講座」を設置する運びとなりました。

会見では、窪之内代表取締役社長から設置経緯について説明いただき、小西教授から研究内容と展望について解説がありました。その後、研究室での設備見学を行いました。会見から見学までを通して複数のメディアから質問が寄せられ、事業への関心の強さを窺うことができました。

令和2~6年度の5年間(総額1,250万円)を設置期間とする本共同研究講座では、畜産廃棄物の活用技術を解明・高度化することで、有機農業の生産性を向上させ、SDGs(持続可能な開発目標)へも貢献することが期待できます。



(左から)村田センター長、小西教授、窪之内代表取締役社長、窪之内代表取締役会長



小西教授による研究内容の説明



研究室見学での実験装置の説明



研究室見学における報道取材の様子

= 日誌 =

6 月

- 1日 地域連携・国際交流委員会
- 2日 編入学試験第1次募集（学力試験入試）願書受付（～8日）、入学者選抜委員会
- 3日 編入学試験第1次募集（推薦入試・社会人特別入試）合格発表
- 4日 教授会（書面審議）
- 5日 教務委員会
- 8日 大学院博士前期課程一般入試（推薦入試併願）願書受付（～12日）
- 9日 総合型選抜実施委員会
- 11日 発明審査委員会
- 15日 大学院入学試験願書受付（～25日）
- 16日 学生委員会
- 17日 役員会、学長選考会議（書面審議）
- 19日 インターンシップ応募・選考対策ガイダンス
- 25日 教育研究評議会（書面審議）
- 29日 共同研究講座（環境大善株式会社）設置記者会見
- 30日 アドミッションセンター運営会議

7 月

- 1日 大学院博士前期課程一般入試（推薦入試）
- 2日 教務委員会
- 7日 入学者選抜委員会
- 8日 大学院博士前期課程一般入試（推薦入試）選考結果通知
- 9日 広報委員会、発明審査委員会
- 13日 地域連携・国際交流委員会
- 15日 ホームページ専門委員会
- 20日 学長選考会議（Web会議）、経営協議会（Web会議）
- 21日 教務委員会、インターンシップ事前研修会
- 22日 教育研究評議会、役員会
- 28日 コース配属に向けた進路選択ガイダンス